



JR東海726億円赤字！ これでもリニアをやるというの？

会社は7月31日、令和3年3月期（2020年度）第1四半期（4～6月期）の決算を発表しました。新幹線利用客が84%も減少し、連結決算で純損益が726億円の赤字を計上しました。以下、概要を示すと次の通りです。

営業収益	1,287億円（対前年同期△3,426億円、72.7%減）
営業損益	△836億円（対前年同期△2,898億円）
経常損益	△1,014億円（対前年同期△2,901億円）
純損益	△726億円（対前年同期△2,039億円）

今後会社は、人件費はもとより設備投資など、あらゆる経費削減を強化すると予想されます。コロナ禍という状況で赤字は仕方がないとはいえ、人件費（特に、冬のボーナス）や安全対策費用は削減してはいけません。仮に人件費が削減されたら、多くの社員が不平・不満を言うでしょう。会社は恐らく、職場での不満を抑えるために、今まで以上の「命令と服従」「規律と忠誠心」の労務管理を強化してくるでしょう。JR東海労は、社員を犠牲にする施策には断固反対します。

このように経営が悪化し、今後もコロナ禍の収束の目処も立たないにも関わらず、会社は「リニア計画は予定通り進める」と主張しています。建設費の資金はどこにあるのでしょうか？一方、JR東海ユニオン指導部はどういう見解を示すのでしょうか？会社のチェック機能を果たすということは、会社の言うことを素直に聞くことではありません。会社は直ちにリニア建設を中止すべきです。